

「魚沼から行く尾瀬」

環境学習プログラム

—尾瀬で学ぶ環境学習の手引書—



「魚沼から行く尾瀬」環境学習プログラム作成委員会

目 次

§ 1 「魚沼から行く尾瀬」環境学習プログラムの魅力	
〈1〉 本プログラムの特長	1
〈2〉 尾瀬の魅力	3
〈3〉 無理なく安心モデルコース	5
§ 2 魅力あふれる自然体験型学習活動	
〈1〉 教師用お役立ち情報・マップ	8
〈2〉 楽しく使おう「尾瀬宝の地図ー尾瀬環境学習マップ」	12
〈3〉 「尾瀬の宝をさがそう」学習課題アラカルト	24
〈4〉 「準備はOK」事前学習(活動例)	38
〈5〉 「現地で実感」環境学習(活動例)	39
〈6〉 「深まる学び」事後学習(活動例)	45
§ 3 安全・安心のために	
〈1〉 ルールとマナーを守って安全に	48
〈2〉 備えあれば憂いなし(持ち物と服装)	51
〈3〉 もしものときは・・・(安全確保)	54
〈4〉 尾瀬下見のポイント	56
〈5〉 学習ガイドの活用	57
〈6〉 交通アクセス	58
§ 4 参考、お問合せ	
〈1〉 参考図書・冊子	59
〈2〉 お問合せ	60
資料編 奥只見・尾瀬に関する資料	
〈1〉 銀山平、奥只見ダム	62
〈2〉 尾瀬の生い立ち	67
〈3〉 尾瀬の気候	68
〈4〉 尾瀬の湿原	68
〈5〉 尾瀬の植物	72
〈6〉 尾瀬の森林	75
〈7〉 尾瀬の動物	76
〈8〉 尾瀬の抱える問題と保護活動	78

みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ

わが国を代表する景観と学術的にも貴重な生態系を有し、「自然保護の原点」である尾瀬を、地域をはじめ尾瀬を愛するひとみんなで保護しながら、豊かな自然体験を享受できるようにする。—尾瀬ビジョン抜粋—



尾瀬国立公園

OZE NATIONAL PARK

§ 1 「魚沼から行く尾瀬」環境学習プログラムの魅力

〈1〉本プログラムの特長

豊かな心とたくましい実践力を育てます！

本プログラムは、子どもたちを内面から成長させることを狙った自然体験型学習プログラムです。

本プログラムでは、魚沼市から尾瀬に向かいます。このルートでは船を使用します。奥只見湖を船で渡るのです。湖上では、神秘的に満ちた美しい景観を堪能できます。また、奥只見ダム開発と自然保護の歴史を学ぶこともできます。

尾瀬は、「国立公園」、「特別天然記念物」、「ラムサール条約湿地」に指定されており、豊かな自然に育まれた希少生物が、絶妙な生態系を保ちながら生息しています。その魅力ゆえ、多くのハイカーが訪れることによる自然破壊が問題となり、環境保全のために様々な対策がとられてきました。尾瀬は、「自然保護運動の原点」と言われています。

奥只見・尾瀬での体験学習を通して、子どもたちは自然の雄大さや巧妙さに驚き、感動することでしょう。加えて、環境保全に全力を注いでいる人々の営みや奥只見ダム開発の歴史に触れ、自然や命を守ることの大切さを身に染みて感じると同時に、開発と環境保全の関係についても考えを巡らすことでしょう。それは、単に開発や観光などが悪いといった一方的な見方や考え方ではなく、「自然との調和を図りながら、人々が自然とともに生活するために、自分たちは何をどうしていけばよいのだろうか？」といった深まりのある具体的・実践的な問いにつながります。さらに、このような体験学習を通して、仲間と協力し合うことの大切さや、力を合わせて物事を成し遂げることの喜びを実感するに違いありません。

豊かな心とたくましい実践力の育成に、本プログラムを有効に活用していただければ幸いです。

(1) 奥只見の開発と私たちの暮らし

奥只見はとても山深く、魚沼の人びとは狩猟や川魚漁、山菜採りの場所として、豊かな自然の恵みに感謝しながら暮らしていました。江戸時代に銀山の開発を契機に多くの人々が集まり、街道が整備され宿場や街も形作られました。しかし、銀山の閉鎖や開拓民の入植の時代を経て、奥只見ダムの建設によって銀山の遺跡も田畑も家屋もダムの湖底に沈みました。

50年前に完成したダムによって作られる電力は、今も私たちの生活を支えています。

(2) 尾瀬は貴重で壊れやすい宝物

尾瀬の美しい景観は、太古の火山活動と厳しい気候、そして豊かな水と希少な生物が織りなす貴重で壊れやすい宝物と言えます。尾瀬をこよなく愛する人々の力で、道路計画やダム計画が中止された一方、尾瀬ブームに沸いた昭和30年代の入山者の増加により、湿原の荒廃やゴミの投棄などの問題が生じました。

今日では、尾瀬の自然と生態系を守るため、たくさんの人々が並々ならぬ努力を続けています。



ニッコウキスゲが咲く大江湿原と燧ヶ岳

プログラムの構成

本プログラムは、「尾瀬環境学習マップ（尾瀬の宝を探そう!）」「教師用手引書（本書）」「ワークシート」の三つで構成してあります。

「学習マップ」は、子どもたちが自然のすばらしさを体感し、楽しみながら主体的に学習を進めることができるよう工夫しました。子どもたちの興味を引き出すため、イラスト風にマップを描き、大江湿原～尾瀬沼周辺や尾瀬ヶ原の散策で見付けたことや気付いたことなどを書き込めるようにしました。自分だけの宝の地図を完成させることができます。

「教師用手引書」は、使いやすさと分かりやすさを第一に考えました。主に次の項目を盛り込んでいます。

- 「学習マップ」の使い方の解説
- 尾瀬環境学習の実績をもつ学校の実践例
- モデルコースにおける学習課題例
- 教師用お役立ちマップをはじめとする引率に必要な各種情報

「ワークシート」は、事前学習～現地体験学習～事後学習の各場面で「学習マップ」を強化・補完するものとして作成しました。必要に応じて、加工してお使いください。

尾瀬体験学習に参加した子どもたちの声

「魚沼から行く尾瀬」自然体験学習に実際に参加した小学校5年生の声を紹介します。



〈2〉尾瀬の魅力

尾瀬は、そこを訪れるだけで大自然の雄大さを感じ、子どもたちにとって忘れがたい思い出となる場所です。尾瀬には以下に紹介するような魅力があり、子どもたちにぜひ訪れてもらいたい場所なのです。



尾瀬で学ぶ子どもたち

尾瀬に行く魅力は…

雄大な大自然を全身で感じることができます

尾瀬に近づくに従って周囲の樹木や空気が変わってくることに気がきます。尾瀬には人を引き付けるだけの魅力ある自然があります。

標高 1,400mの尾瀬ヶ原から 2,356mの燧ヶ岳ひうちがたけまで、これだけ標高の高い場所にある湿原や沼、それらを取り巻く森林など、変化に富んだ自然豊かな場所は、全国でも貴重な存在です。一歩足を踏み入れただけで、これらの大自然を肌で感じるができるのは、尾瀬の魅力の一つです。



燧ヶ岳と尾瀬沼

尾瀬は国立公園として保護されている地域です

平成 19 年 8 月 30 日に尾瀬地域が「日光国立公園」から分離独立し、新たに 29 番目の「尾瀬国立公園」として誕生しました。尾瀬国立公園には、尾瀬地域と会津駒ヶ岳ひのえまた（福島県檜枝岐村）、田代山たしろやま及び帝釈山たいしゃくさん周辺地域（福島県南会津町、栃木県日光市）が含まれます。

国立公園は、自然公園法に基づき環境省が指定し、その優れた自然景観を大切に保護する場所です。そして、このような場所は、国だけでなく、地元関係者も協力して適切に管理し、その自然景観を保護していくことが重要となっています。

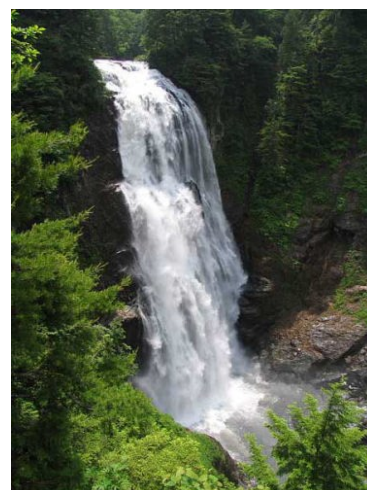
このように、尾瀬は、国が国立公園として、その自然や景観の保護を認めているとても大切にされている場所なのです。

尾瀬の一部は新潟県…魚沼から入ることができます

尾瀬沼、尾瀬ヶ原周辺地域は広大で、3 県にまたがっています。新潟県（魚沼市）、群馬県かたしなむら（片品村）、福島県（檜枝岐村）です。尾瀬ヶ原の北側、景鶴山の山頂から尾瀬ヶ原にある東電小屋周辺にかけての地域が主に新潟県内となります。また、三条ノ滝や平滑ノ滝ひらなめのある只見川を境に、新潟県側と福島県側に分かれます。

そして、尾瀬には新潟県魚沼市から奥只見を通過して入山することができます。

このように尾瀬の大自然の一部が新潟県であるということも魅力の一つです。



尾瀬の水が流れ落ちる三条ノ滝

貴重な植物が生育しています

尾瀬は、日本を代表する高層湿原である尾瀬ヶ原や尾瀬沼など傑出した景観に加えて、学術的にも貴重な固有の植物が多い所です。

オゼヌマアザミ、オゼコウホネ、オゼソウ、オゼヌマタイゲキなど、「オゼ」という名前が付いている植物や尾瀬で初めて見付けられた植物が数多くあります。それだけ尾瀬というところには、貴重な植物が多く生育しているのです。そして、それら多くの植物が季節により姿を変えて、訪れる人を出迎えてくれるのも尾瀬の特徴です。



尾瀬沼の春を彩るミズバショウ

訪れた人に優しく語りかけ、大切にしようという気持ちにさせてくれる場所です

尾瀬には、そこを守ろうという気持ちにさせるだけの魅力があります。

人に愛され、大切にされる尾瀬。

ゴミの持ち帰りやし尿処理、木道の修理、裸地を復元するための作業など、人手や費用をかけて守られていることも、尾瀬の大きな魅力の一つです。訪れる一人一人が環境保護を意識し、この美しい自然の景観をいつまでも残せるように配慮しています。

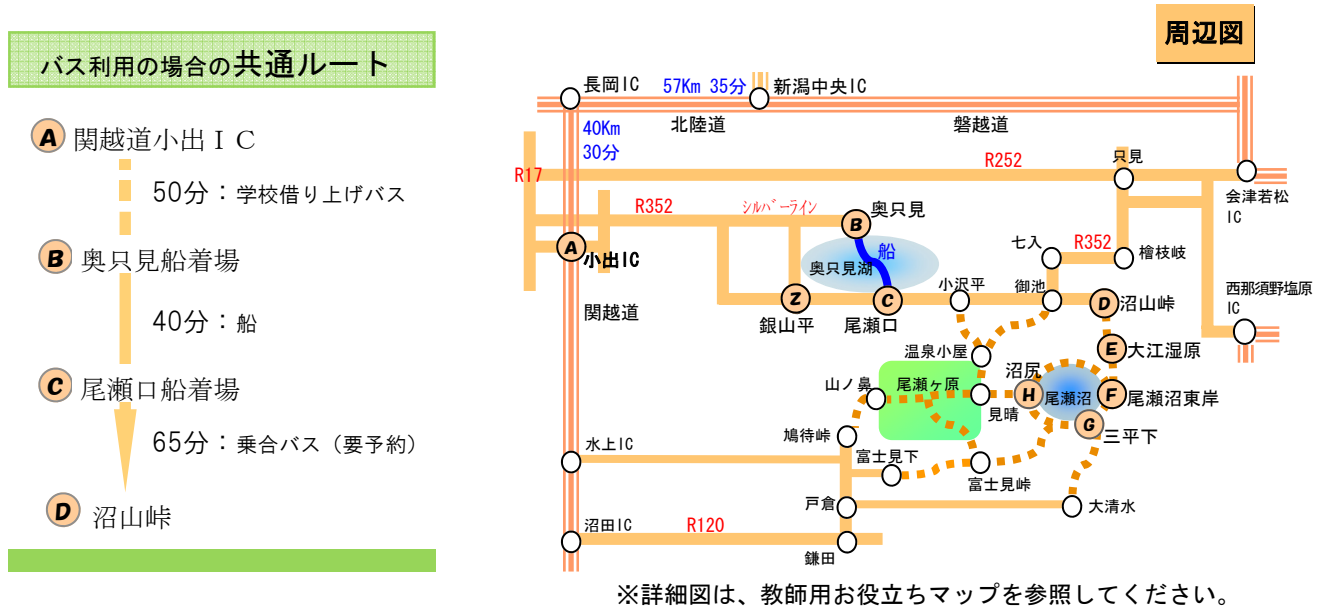
いつまでも尾瀬の自然が変わらないように願いながら、自然や人、身の周りのすべてを大切にしていこうという気持ちを学ぶことができます。正に、尾瀬は生きた教材なのです。



霧けむる尾瀬

〈3〉無理なく安心モデルコース

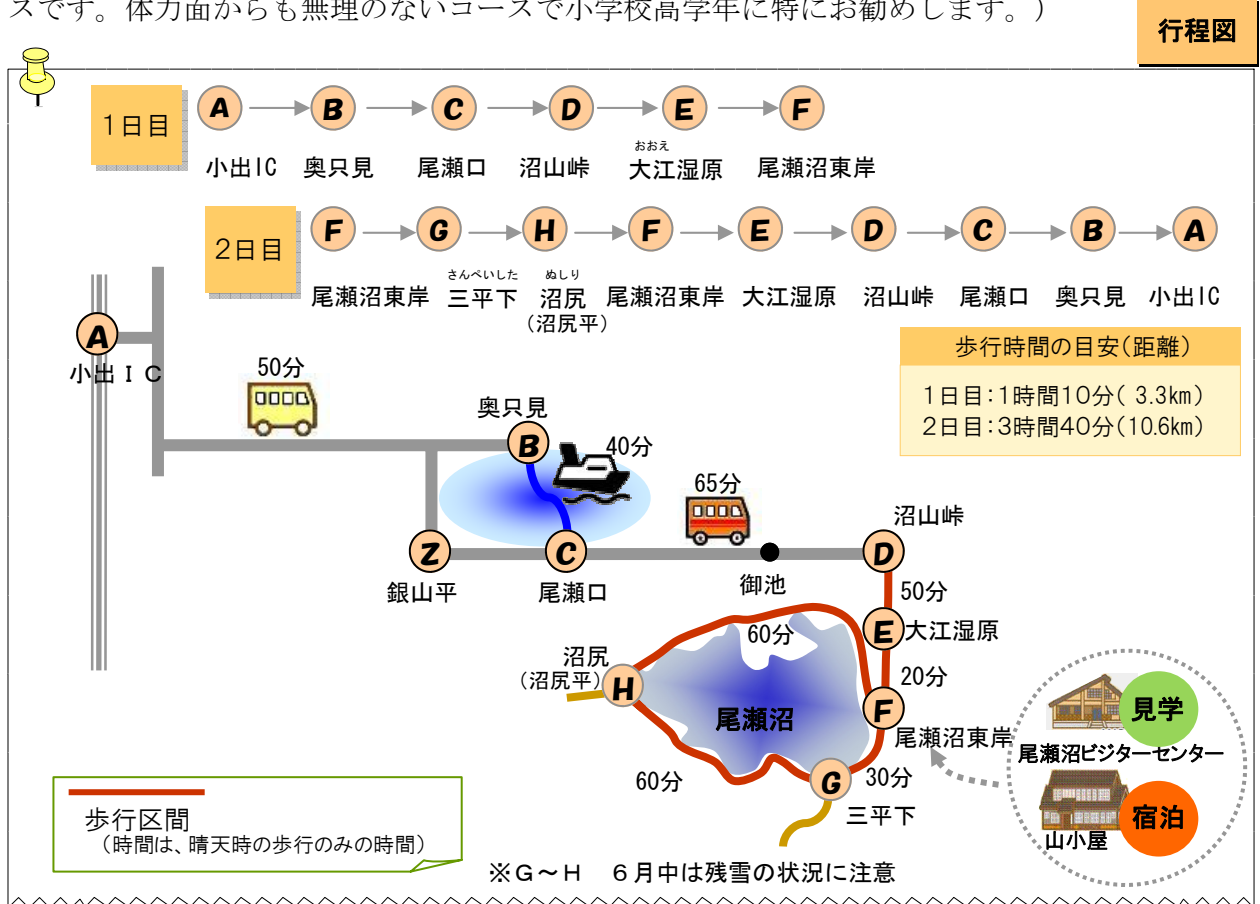
尾瀬環境学習マップ「尾瀬の宝を探そう！」を活用し、子どもたちが無理なく充実した自然体験学習を行うためのモデルコースを提案します。



推奨モデルコース 尾瀬沼宿泊・尾瀬沼周回コース

「魚沼から行く尾瀬ルート」を利用して沼山峠から尾瀬に入り、尾瀬沼周辺の山小屋に泊まる1泊2日コース。

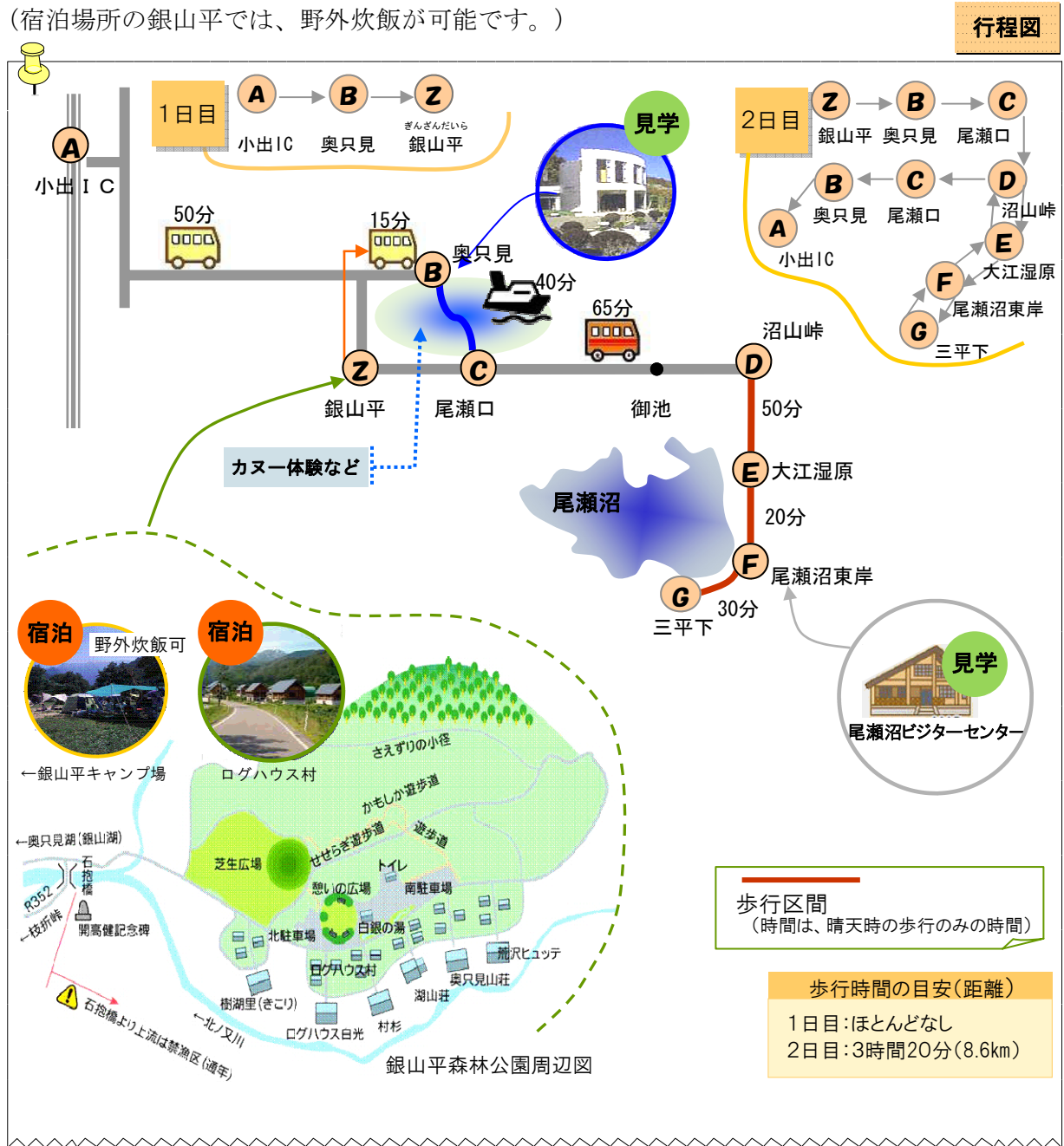
(尾瀬の自然を十分に満喫し、子どもたちの心に残る自然体験学習を行うのに最も適したコースです。体力面からも無理のないコースで小学校高学年に特にお勧めします。)



推奨モデルコース 銀山平宿泊・尾瀬沼日帰りコース

奥只見ダムとその地下にある発電所や隣接する電力館を見学することで、翌日の尾瀬の自然体験学習の深まりが期待できるコース。

(宿泊場所の銀山平では、野外炊飯が可能です。)



参考コース 尾瀬沼から見晴宿泊・尾瀬ヶ原・三条ノ滝を回って小沢平へ

尾瀬の新潟県部分を中心に、幅広く尾瀬を堪能できる

1泊2日コース。

(アップダウンが大きく、中学生以上向きの健脚コース)

1日目:小出IC~奥只見~尾瀬口~沼山峠~尾瀬沼~沼尻~見晴(宿泊)

2日目:見晴~赤田代~平滑ノ滝~三条ノ滝~渋沢温泉~小沢平~尾瀬口~奥只見~小出IC

歩行時間の目安(距離)

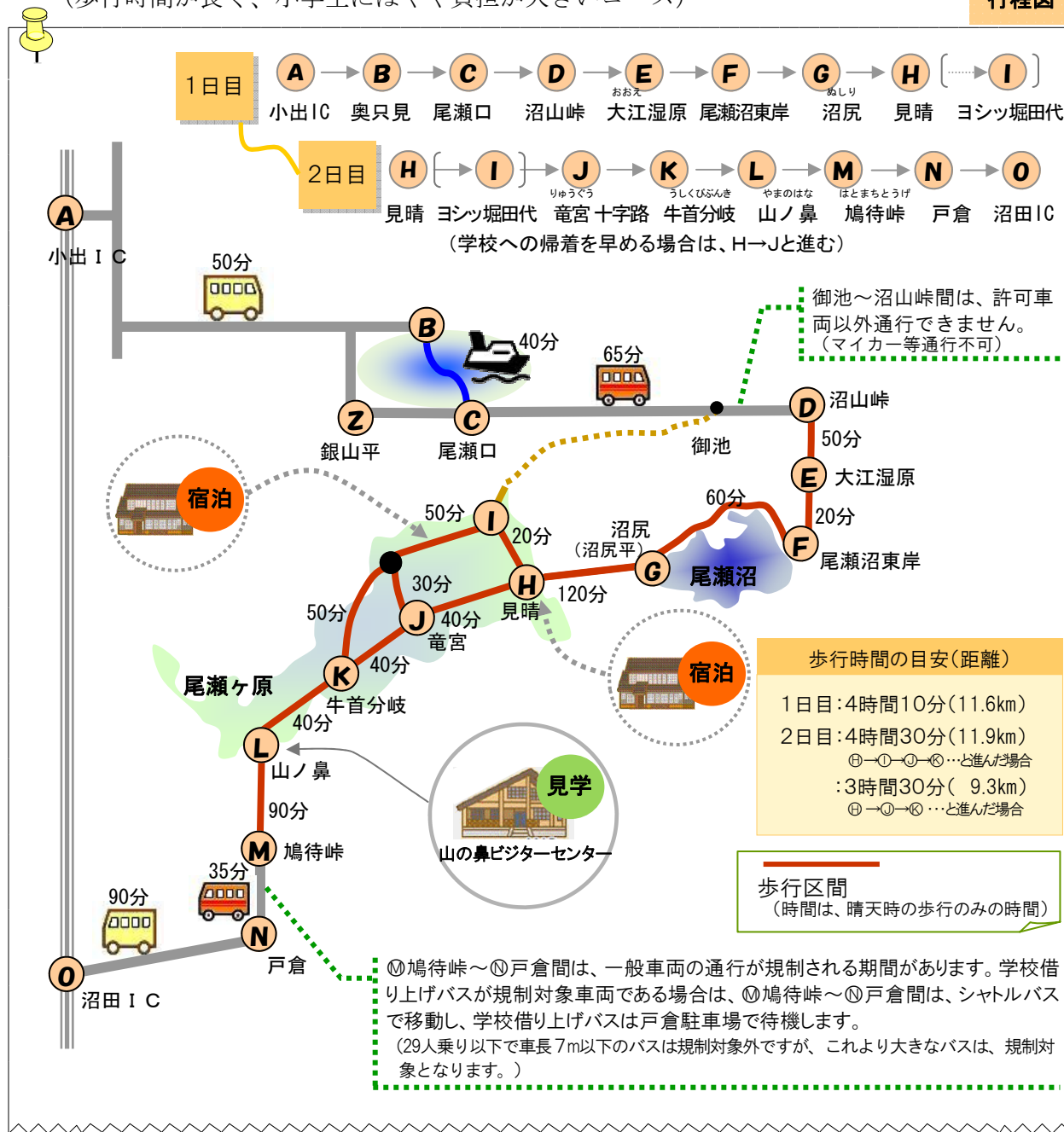
1日目:4時間10分(11.6km)

2日目:4時間10分(6.4km)

みはらし はとまち
モデルコース 尾瀬沼から見晴宿泊・尾瀬ヶ原から鳩待峠（群馬県）へ

尾瀬の全体を体験できる1泊2日コース
 (歩行時間が長く、小学生にはやや負担が大きいコース)

行程図



ひうちうら はとまち
参考コース 御池から燧裏林道を通り、東電小屋宿泊・尾瀬ヶ原から鳩待峠（群馬県）へ

尾瀬ヶ原の広大な湿原や燧裏の小湿原と巨木など、多様な尾瀬の自然を堪能できる1泊2日コース
 (御池～赤田代の間8.3km約3時間30分間トイレがありません。)

歩行時間の目安(距離)

1日目:3時間30分(8.3km)
 2日目:4時間30分(11.0km)

1日目:小出IC～奥只見～尾瀬口～御池～燧裏林道～赤田代(宿泊)

2日目:赤田代～竜宮～牛首分岐～山ノ鼻～鳩待峠～(シャトルバス)～戸倉～沼田IC